令和6年度(令和5年度実績) 総合評価書 <施設名 笠原児童館>

1 指定管理者名	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
2 指定期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日(1年間)
3 業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関すること。 2 児童館の維持管理に関すること。 3 目的外使用許可にかかる事務に関すること。 4 児童館運営委員会の設置、運営管理に関すること。 5 事業評価に関すること。

4. 採点表

評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点
運営・利用状況(40点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	10	平均値比(注) 105%以上:10点、 105%未満~95%:8点、 95%未満~85%:6点、 85%未満:4~0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出	開館時間中(10:00~18:00)自由来館となっている。	-
				②利用人数	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 ※今回は指定管理1年目の評価のため、上記(1)を適用 $156\% \div \text{利用人数(延べ人数 7,795人)} \div 4,996人$	・調理事業はその場での会食を再開したところ、多くの申込者があり来館者の増加につながった。 【5年度】来館者数 7,795人 乳幼児:2,487人 小学生:1,984人 中学生:73人 大人:3,251人 【4年度】来館者数 6,120人 乳幼児:2,105人 小学生:1,712人 中学生:7人 大人:2,296人 【3年度】来館者数 4,476人 乳幼児:1,651人 小学生:1,001人 中学生:58人 大人:1,766人 【2年度】来館者数 4,391人 乳幼児:2,325人 小学生:383人 中学生:10人 大人:1,673人 (参考)コロナ前である令和元年度との比較 ・R5:7795÷R1:9524≒82%
	(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計48回開催、延べ793名参加) ・児童を対象とした事業(86回開催、延べ589名参加) ・地域交流事業、多世代間交流事業(乳幼児から大人)(計22回開催、延べ907名参加) ・中高生事業(計14回開催、延べ49名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計23回開催、延べ124名参加) ※別紙:事業評価表 参照	仕様書以上 13点	栄養士、保健師を講師に迎えた講話を含め、乳幼児クラブは前後期ともに8回ずつ開催。小学生クラブはどれみ、一輪車、キックジュニアの3クラブが活動。地域のお祭りにスタッフとして参加。児童館まつりは昨年通り発表とキックジュニアが企画した「おぼけやしき」の縁日で開催。中高生事業は来館が少なかったが、「ふれ愛食堂」に毎回頼りになるボランティアとして参加。子育て相談は「事前予約制」となったが、指定日に予約は無し。講演会は「いのちの話」と「防火教室」を開催し、参加者の交流も図った。今年度活動を再開した母親クラブの支援事業「おやこえいご」、「バレンタイン大作戦」は親子で参加したいとのニーズに答え、参加しやすい企画にしたところ多くの参加者があった。	13点
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が期待以上:15~12点 例年通り:11~9点、 例年よりやや劣る:8~7点、 例年より劣る:6~3点 例年よりかなり劣る 2~0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計54回開催、延べ460名参加) ・児童を対象とした事業(計40回開催、延べ229名参加) ・地域交流、多世代間交流事業(乳幼児から大人)(計52回開催、延べ1664名参加) ・中高生対象事業(計2回開催、延べ3名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計40回開催、延べ516名参加) ※別紙:事業報告書 参照	期待以上 13点	乳幼児と保護者を対象とした事業は、父親支援事業を多く開催し、父親間の交流を図った。児童を対象とした事業では施設交流会を開催し、前年まではメッセージの交換だけだったが、令和5年度はゲームを通してお年寄りとの交流を深めた。デイキャンプは調理、水遊びの2本立てで異学年の交流も行った。地域交流事はふれ愛食堂を開催。毎月楽しみにしている多くの参加者があった。また地域の行事にも多数参加し、多世代での交流を深めた。中高生対象事業は調理事業を企画したが申込者がなく中止となった。「乳幼児水遊び」は積極的に乳幼児とのふれあいを深め、達成感を感じた様子であった。利用者が講師となる「にじいろ」等、母親主体の行事が活発なこともあり、思いに共感したメンバーが20名以上集まり母親クラブが再開、行事にも積極的に参加した。	13点

評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点	
2 施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	屋内・トイレの清掃:毎日 ガラス・備品の清掃:ガラスは年2回以上、備品は毎日実施。 照明器具の清掃:随時 館庭の清掃:週2~3回等の定期清掃、日常清掃を実施。 時間を見つけ第2駐車場を含め、児童館周辺の側道まで様子を見てゴミ拾いや除草作業を行っている。	適正(普通) 2点	仕様書に定める回数以上、適正に実施されている。	10点
		②保守・点検		遊具点検:毎月の職員点検と年3回の業者点検 電気工作物点検および自動ドア点検:業者委託により実施 パソコンサポート:随時 東京本部情報システム部等によるサポート	適正(普通) 2点	法定点検、日常点検ともに、適正に実施されている。	
		③保安・警備		非常通報装置・消防用設備:警備会社に委託 消火器経年使用の為、加圧式から蓄圧式に入れ替え実施 令和3年度から警備システム導入	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
		④小規模修繕		・児童館裏駐車場の整地:バラス投入等 ・蛍光灯交換など、軽微な不具合の修繕 ※10万円未満であったため仕様書の定めにより指定管理者の負担で修繕・修理を行った。 ・輪転機保守契約代 29,700円	適正(普通) 2点	修繕箇所が発生した際は、遅滞なく対応がなされている。	
		⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)		毎月1日に「安全点検日」を設け、全館の点検確認をするとともに、職員研修「リスクマネジメント」を基に「ヒヤリハットシート」を活用している。	適正(普通) 2点	日常の業務の中で、危険箇所を把握し、適正に対応されている。	
	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	文書目録を作成し、個人情報を含む重要書類は施錠保管	適正(普通) 2点	文書目録を作成し、それに基づき適正に管理されている。	10点
		②環境への配慮		・「節電・節水に努める」 冷暖房の設定温度を適正設定し、冬期床マットの追加など、季節に合わせた環境設定でエネルギーの浪費を抑えている。 ・「廃材や消耗品の再利用」 紙はリサイクル紙を利用。関係機関へはメール連絡を心掛けている。事業で使用する工作材料はできるだけ廃材を活用し、各家庭でも実践できるよう保護者へ提案している。 ・「ゴミの分別」 リサイクルできるものは適切に分別し、寄付されたおもちゃなどリユースできるものは再活用している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
		③バリアフリー		・玄関のスロープやトイレの手すりなど設置。 ・手すりや机の角に緩衝剤を付けて対応。不使用時のコンセントにはカバーを付ける等利用者の安全に配慮している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
		④備品管理		備品台帳の原本は子ども支援課で保管。コピーを適正に管理している。年1回照合。	適正(普通) 2点	適正に管理されている。	
		⑤個人情報保護		特定非営利活動法人ワーカーズコープとして『個人情報保護規定』を作成し、情報は施錠保管のうえ管理している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
		⑥事故等への対応		事故等への対応は減点対象とする 事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等の対応に不備あり:△1点	事故なし。	事故なし 対応に不備なし 0点	
	3 当該施設の経営状況(-1点)	①事業収支	施設の特性から評価対象外の項目	収入 11,141,322 ÷ 支出12,123,095 ≒ 91.9% 収支状況が必ずしも管理運営状況を反映するものではないため、評価対象外とする。 (令和3年度から)			

評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点		
4	(1)市民・利用者の声の反映(20点)	①ニーズの把握・事業への反映	15	期待以上:15~12点、 適正(普通):11~9点、 普通未満~物足りない:8~0点	・窓口に意見箱を設置するとともに、「乳幼児クラブ」「小学生クラブ」のアンケートをはじめ、「児童館まつり」「にじいろ」「わくわくバザー」等の各行事終了時にアンケートを実施した。 ・日常においても、利用者に声をかけニーズの把握に努めている。	期待以上 13点	・乳幼児クラブ等では最終日に実施するアンケート結果を踏まえ、職員内で共有し次の活動に反映させている。 ・アンケートだけでなく、日頃の聞き取りにも重点を置き、事業や施設運営の改善に努めている。	13点
		②苦情対応	5	期待以上:5点、 適正(普通):4点、 不備あり:3~1点 ※苦情なしは5点とする	・令和6年3月3日メールによる苦情あり。報告・対応済み。	適正(普通) 4点	・令和6年3月3日メールによる苦情あり。対応済み。 ・ワーカーズコープとして、苦情解決第三者委員の設置あり。	4点
4	より良い施設運営のための取組(35点)	(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1~3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15~12点、 適正(普通):11~9点、 普通未満~物足りない:8~0点	・施設管理に一番重要な人員確保の為に、常時勤務する以外の臨時有資格者を登録し、大きな事業や学校休業日・長期休暇中など来館者の多い場合や急な職員の欠勤に対応できるようにした。 ・労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団では、『全国子ども・子育てケアプロジェクト』を組織し、子育て・子育て障がい児支援の大規模な研究交流を行っている。 毎月「全国子育てWEBミーティング」・5月23日「全国子ども子育てケアプロジェクト会議」・9月9日~10日「全国子育てフォーラム」(オンライン)・11月11,12日「実践交流集会」子育ての中で体験する事の重要性を実践報告と共に学習した。年間全国規模の研究交流会を計8回開催。(オンライン)・東海事業本部においても「東海事業本部子育てPJ会議」毎月開催。(オンライン)・法人内児童館職員研修を毎月第2月曜日を基本に開催した。 ・下記他団体の研修会に参加し、未参加者へは伝達研修を行った。 【主催:岐阜県】9/2 木育フォローアップ研修 10/25,2/25ぎふ木育サポーター研修 飛騨五木株式会社【主催:岐阜県児童館連絡協議会】・11/9東濃ブロック研修会「表現活動…音楽」「音でコミュニケーション」~リズムにのって心も身体もはずみしよう~ 中部学院大学短期大学部 幼児教育学科教授 岡田泰子先生・「表現活動…造形」「自然は教えてくれる」~あそびは、生きる力~ 小規模保育ねっこ園施設長 浅野美香子先生・12/7東濃ブロック研修会「地域福祉活動」児童センターの社会的役割と意義 中京学院大学 専任講師 全国こども福祉センター理事長 荒井和樹先生【共催:多治見市社会福祉協議会、ワーカーズコープ】・2/7合同研修会「現代の子どもたちの性について -いのちの話-」愛助産院 助産師 梅木美恵子先生【主催:多治見市消防署】・11/6火災図上訓練(FIG)	適正(普通) 11点	・地域行事や会議への職員の参加や、地域との積極的な連携を行っている。 ・全国組織である点を活かし、様々な研修に参加し、それを共有することで職員の資質向上に努めている。 ・館長が令和6年3月中旬に急遽退職。4月から笠原交流センターに機能統合するための引き継ぎや引越作業といった極めて重要な年度末業務が円滑に進まないこともあった。市と連携しながら、運営法人本部からのフォローを求めるとともに現場職員が業務を補完し5年度の事業・業務を完了した。	11点
5	その他(減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1~△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、 一部遅れ・不備あり(中程度):△2、 一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし。	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	0点
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1~△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	特になし。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施されている。	0点
合計		100	【4段階評価】 極めて良好100~85点 良好 84~65点 努力が必要 64~45点 取消し等を検討44点以下				全体的な評価 ・良好な管理が行われている。 ・通常の事業運営だけでなく母親クラブ再結成など、関係団体等への支援、連携にも尽力した。 ・年度末業務では、重要な笠原交流センターへの引き継ぎや引越作業について円滑に進まないこともあった。	84点 良好